

GX建機で建設施工の

カーボンニュートラルを進めませんか？

◆GX建機とは？

国土交通省が『GX建機認定制度』で認定したカーボンニュートラルに資する建設機械のことを指します。電動式など、CO2排出削減に貢献する建機の認定を行うことで、建設施工における脱炭素の実現を支援します。

『GX建機認定制度』については、下記リンクをご覧ください。

https://www.mlit.go.jp/tec/constplan/sosei_constplan_tk_000005.html

詳しくはコチラ



従来のディーゼルエンジン式から電動式に切り替わることで、CO2排出量の削減が実現します。



従来のエンジンよりも優れた静音性のため、住宅街での工事や夜間工事なども行いやすくなります。



排ガス・騒音の削減により作業員の心身に与える負荷や、周辺の樹木・植栽に与える悪影響が軽減されます。

認定ラベル



◆GX建機の使用事例

試験期間	令和6年12月16日～令和7年1月10日
工事名称	令和6年度 皇居外苑馬場先作業構台撤去工事 ※環境省の直轄工事
実施内容	園路広場整備における防護柵復旧作業、 歩道舗装復旧作業など
使用機械	左：竹内製作所製 電動ミニバックホウ「TB20e」 右：コマツ製 電動マイクロショベル「PC01E-2」



運転質量 1,930 kg
連続稼働時間 最大8時間
バッテリー容量 24.7 kWh



運転質量 330 kg
連続稼働時間 約2時間
バッテリー容量 1314 Wh (着脱式)



GX建機の試験運用結果

◆試験運用の評価

- ✓ 従来機と比較して遜色のない、十分なパワーを確認。
- ✓ 周辺が静かになるため、普通の声量での会話、作業指示を出すことができました。
- ✓ 排ガスが出ないことにより、周囲の作業員の作業環境が向上した。
- ✓ 植栽や塀に対して従来行っていた養生措置等が不要になった。

防護柵の設置に向けた掘削・整地作業



稼働の様子



歩道のベンチ再設置に向けた掘削土の埋戻作業



◆作業現場での充電設備の導入

- ✓ 充電に必要な電圧の電源が現場で確保できず、外部からの充電サポートが必要となった。
- ✓ 作業現場に可搬式充電設備を持ち込み、バッテリー残量に応じて現場にて継ぎ足し充電できるようにした。

現場に導入された充電設備



補助金制度でGX建機の導入を支援します！

補助金に関する最新情報については、下記リンクをご覧ください。

https://www.env.go.jp/air/car/commercial_vehicles/index.html

詳しくはコチラ



環境省

水・大気環境局 モビリティ環境対策課 脱炭素モビリティ事業室 TEL : 03-5521-8303